令和6年度「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究、並びに障害者の生涯学習推進ポータルサイト構築」

事業の目的

学校卒業後の障害者について、学校から社会への移行期や人生の各ライフステージにおける効果的な学習に係る支援の推進に向けて、①障害者、その支援者・保護者を対象としたアンケート調査、ヒアリング調査、②自治体ヒアリング調査を通して、「障害者の生涯学習の普及推進」のための情報発信のありかたについての把握・分析など、専門的な調査研究を実施する。そして、調査研究の成果物として、障害者の生涯学習推進ポータルサイトを作成し、障害者の生涯学習の普及・啓発を目指すことを目的とする。

事業内容

①障害者、その支援者・保護者を対象とした調査

(1)アンケート調査

調査対象	インターネット調査会社が保有するリサーチモニターのうち、18歳以上79歳以下の障害者、またはその者と同居している家族に回答を依頼
実施期間	令和6年12月6日～12月17日（Webアンケート）
回答人数	500人

(2)ヒアリング調査

障害者の生涯学習プログラムを主宰するNPO団体に協力を依頼し、団体で活動している障害者に対し、ヒアリング調査を実施

②自治体、法人、団体等ヒアリング調査

「障害者の生涯学習の普及推進」のための情報発信の実態を把握するため、先進的に情報発信に取り組んでいる自治体等にヒアリング調査を実施

調査対象	・兵庫県教育委員会社会教育課 ・福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局　青少年政策課 ・大分県教育庁社会教育課 ・公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

③生涯学習推進ポータルサイト構築・・・次頁参照

①「障害者、その支援者・保護者を対象とした調査」結果

生涯学習の取組状況・関心・認知度

- 生涯学習について、56.6%が「特に取り組んでいない」と回答。生涯学習に取り組んでいない人は「全く関心がない」の割合が29.3%、「あまり関心がない」の割合が24.7%と高い。
- 住んでいる地域でどのような生涯学習に取り組むことができるか「まったく知らない」の割合が31.0%、「あまり知らない」の割合が26.4%と高く、「よく知っている」と回答したのは8.0%。生涯学習への関心が薄ければ薄いほど、「まったく知らない」の割合が高く、全く関心が無い人の81.9%は「まったく知らない」と回答。

情報収集の手段について

- 生涯学習活動に関する情報の入手元をみると、「新聞、雑誌、書籍（専門誌含む）」（28.6%）、「テレビ・ラジオ」（24.0%）といったマスメディアや、「インターネットの情報検索」（30.0%）「インターネットの動画投稿・共有サービス（YouTube等）」（24.0%）といったインターネットによる情報の入手の割合が高い。また、ヒアリング調査の結果から、生涯学習活動に取り組むきっかけとして、「医療関係者」や「福祉事業所の職員」からの勧めとの回答も見られた。
- インターネットでの情報収集の際、障害により困難を感じるかどうか聞いたところ、「非常によくある」の割合が12.4%、「よくある」の割合が14.2%で、「たまにある」と合計すると回答者全体の約半数に上る。

障害者の生涯学習の普及推進のための、望ましい情報発信のありかた

①ポータルサイト・アプリ等、インターネットの積極的な利用

障害者の生涯学習ポータルサイトの新規立ち上げや既存ポータルサイトの改善、アプリの作成など、インターネットでの効果的な情報提供のための取組の拡大。

②インターネット利用に困難を感じる人・利用していない人への配慮

インターネットによる情報収集に困難を感じる障害者を考慮したホームページの構築と、インターネットを利用していない障害者に配慮した、支援者ネットワーク等複数の情報チャネルの並行利用。

③福祉部局のネットワークや自治体が持つ媒体を活用し、無関心層に周知

障害福祉サービス事業所を介した情報提供や自治体のメディア等で無関心層に活動の存在を認知してもらい、その後インターネットでの詳しい情報に結びつける工夫そのために自治体が域内の情報を集約し、福祉部局が有するネットワーク等を活用して情報提供を図ること。

④特別支援学校との連携による早期からの生涯学習意欲の向上

生涯学習の取組状況・関心・認知度が低い現状から、特別支援学校や特別支援学級において、学校卒業後の学び・余暇に関する指導や学びの場の紹介を行うことで、学校卒業後の学びへの関心・意欲を高めていく必要があること。

令和6年度「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究、並びに障害者の生涯学習推進ポータルサイト構築」

②「自治体、法人、団体等ヒアリング調査」結果

取組主体	情報発信の概要
兵庫県教育委員会社会教育課	県内の学びの場を集約し、障害者が自分にあった条件で検索できるアプリ『「学び場」検索アプリ』を構築し、情報の発信を行っている。 URL:https://hyogo-learninglist.glide.page
福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年政策課	生涯学習情報を集めた県のポータルサイト「ふくおか生涯学習ひろば」の講座・イベント検索機能において、『障がい者の文化・スポーツ』という項目で、障害者が参加可能な講座・イベントをわかりやすく、手軽に絞り込めるようにしている。 URL:https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/
大分県教育庁社会教育課	障害者の生涯学習情報に特化したポータルサイト「かたろうえ大分」を通じて、障害者の生涯学習情報の発信を行っている。 URL:https://www.kataroue-oita.jp/
公益社団法人東京都障害者スポーツ協会	パラスポーツ専門ポータルサイト「TOKYOパラスポーツ・ナビ」を東京都と共同で運営し、幅広いパラスポーツ情報の発信を行っている。 URL:https://www.tokyo-parasports-navi.metro.tokyo.lg.jp/

③「生涯学習推進ポータルサイトの構築」実施内容

「文部科学省障害者学習支援推進室ポータルサイトの開設」として、特に自治体担当者等の支援者をメインユーザと想定し、情報の整理やユーザビリティに配慮したデザインによって、各閲覧者が自身の求める情報にアクセスしやすいポータルサイトを構築した。

主な開発内容

- トップページにアクセスしてすぐ表示されるエリア(ファーストビュー)にスライダーを配置し、特に重要なコンテンツにアクセスする導線を確保した。
- 同じく目に入りやすい位置に『「共生社会のマナビ」サイトについて』として本ポータルサイトの説明を配置し本サイトの位置づけを閲覧者が理解できるよう配慮した。

- 「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」の成果及び『「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰』の表彰団体を事例として検索できる機能を実装し、トップページからの検索を可能にした。

- 障害当事者や支援者向けの情報である「都道府県・指定都市障害者学習支援担当窓口一覧」は、その他の情報から切り離して配置した。

- 従来のページでは10以上のトピックが並列して表示されていたが、ポータルサイトを構築する上で文部科学省と調整の上、8つに絞った。また、各トピックの内容と関連したイラスト・写真を配置することによって、視覚的にわかりやすく、求める情報に行き着きやすいデザインとした。



文部科学省「共生社会のマナビ　障害者の生涯学習ポータルサイト」
https://kyouseisyakainomanabi.mext.go.jp/